

センター長 より

トライアル研究センター（地域共同テクノセンター）長 割澤 泰

最近の産学連携の話題をご紹介致します。以下の詳しい資料は本校ホームページから「企業の皆様へ」から「技術振興交流会」をご覧ください。

1. コーディネータ着任

技術振興交流会総会でご案内しましたように、本校に特命教授としてコーディネータの方が着任されました。

機械工学科・電気工学科・電子情報工学科担当



西村 透氏

石川高専機械工学科一期の卒業です。これまでの経験と技術力を活かして、母校にお役に立ちたい。

E-mail renkei2



吉田 博幸氏

北陸の風土と産学官連携のネットワークの場を活かし、「日本一の高専専生」に努力いたします。

E-mail renkei3

環境都市工学科・建築学科担当



渡辺 修身氏

“ものづくり”の基本は、物への想いれが大事！シビルエンジニアリングの感性で貢献いたします。

E-mail renkei4



加藤 章三氏

「温新知故」の気持ちで、超高層ビルの建設の心気意気度で新たな高専の力の誕生に貢献します。

E-mail renkei

共同研究、各種産学連携補助金申請をはじめ、採用の件なども含めて、企業さんと本校とのパイプ役として働いていただくこととなっています。お気軽にご相談ください。

2. 研究会の組織化

技術振興交流会参加企業さんと、本校教員とのより密接な技術交換を図るため、研究会（現在14）を立ち上げております。既に特定の企業さんと、活動を始めている会もあります。ご参加希望の方は、企画室までお問い合わせ下さい。

※コーディネータの方へメールを送信する場合は、メールアドレスの後に、@ishikawa-nct.ac.jp をつけて送信してください。

トピックス

石川県ニッチトップ企業人材育成事業について

経済産業省より委託を受け、上記の事業を8月27日から10月2日までの期間中、7日間に渡って実施致しました。技術振興交流会会員企業等の若手技術者に対して受講の募集を行い、15名募集に対して20名（20社）で実施致しました。募集対象者は、企業における機械系若手技術者であって、苦手な電気・電子系の基礎技術をこの研修を通して習得したい方、またはこれまで電気・電子の技術について一通り学んできたが、もう一度体系を立てて学習したい方を対象としました。

7日間の講座内容は「生産技術におけるデザイン」、「電気・電子回路の基礎知識」、「制御方法の基礎」、「センサ技術」、「企業における実践例（企業訪問）」、「テーマ総合演習」、「成果発表会」という流れであり、シーケンス制御を通して電気・電子の基礎を学んで頂きました。同時にこの事業の大きな目的は、人的ネットワークを築いて頂くことであり、そのためグループ分けをして、グループごとにPBLテーマを決め、グループで成果をまとめることを行ってもらい、また昼食会を数多く開くことにより、今後のステップアップに向けた土台が築けたのではないかと思います。なお、来年度も講座内容を更にブラッシュアップして実施する予定です。

トライアル研究センター次長 森田義則（電気工学科）

総会・産学官交流懇談会を開催

8月28日（木）、金沢商工会議所で「平成20年度石川工業高等専門学校技術振興交流会総会」を開催しました。開催に先立ち、金岡校長の挨拶があり、新家会長（（株）国土開発センター取締役社長）が議長を務め、平成19年度の事業報告・決算報告・会計監査報告、平成20年度の事業計画・予算案及び会則の一部改正案が原案どおりに承認されました。

また、役員任期満了及び会則の一部改正による役員増員に伴う16名の新役員が選出され、会長には西村 武氏（オリエンタルチエン工業株式会社代表取締役社長）、副会長には吉田 裕氏（株式会社コスモサミット代表取締役社長）と高田康宏氏（ニッコー株式会社環境エネルギー機器部長）が就任されました。

続いて、第18回産学官交流懇談会を開催しました。金沢商工会議所中小企業相談所次長 林 健治 氏の挨拶に続き、国立高等専門学校機構理事 小田公彦 氏の「国立高専の産学官連携の新たな戦略と展開についてー地域イノベーション創出を目指してー」と題する特別講演が行われました。

その後、本校教員による発表が行われ、機械工学科石田博明教員から「就職・学外実習支援事業」の報告が、割澤 泰トライアル研究センター長から「石川高専の産学官連携の動向」の報告が行われました。

発表終了後は懇親会が開催され、多くの参加者がテーブルを囲み情報交換を行いました。

技術振興交流会事業の開催状況

実施日	内容	備考
8月28日(木)	平成20年度技術振興交流会総会及び第18回産学官交流懇談会	於:金沢商工会議所
7月22日(火)～	生産スケジュール研究会	(株)コスモサミット、電子情報工学科 越野亮
9月10日(水)	温熱・音環境に関する研究会	鈴木管工業(株)、建築学科 森原崇、船戸慶輔
11月18日(火)	3D-CADとCAE利用研究会	伊藤工業(株)、(株)オノモリ、機械工学科 藤岡潤

各種フェアへの出展状況

実施日	イベント名	本校からの出展テーマと担当者
8月20日(火) ～21日(木)	第6回全国高専 テクノフォーラム	割澤 泰 (トライアル研究センター) 「平成19年度石川県ニッチトップ企業人材育成事業」 森原 崇 (建築学科) 「近江町市場商店街における改修前の音環境調査」
10月 3日(金)	しんきんビジネスフェア	上町 俊之 (電気工学科) 「ACサーボの高性能化と応用に関する研究」
10月18日(土) ～19日(日)	第15回エコテクノロジーに 関するアジア国際シンポジウム	
10月23日(木) ～24日(金)	北陸技術交流テクノフェア	竹下 哲義 (電子情報工学科) 「多結晶SiCのアンチサイト欠陥について」
11月11日(火)	第4回FITネット商談会	河合 康典 (電気工学科) 「遠隔操作支援システム」

今後の行事予定

- 11月 ●いしかわ夢未来博2008出展予定
- 12月 ●専攻科インターンシップ報告会
- 2・3月 ●企業説明会

設備機器紹介

「電磁波測定装置」

平成15年に電気用品安全法が改正され、電化製品から放射される電波を許容値以内にする必要があることとなった。完全な検査には、指定検査機関での検査が必要であるが、本校にある以下の装置を使えば、周波数10kHzから18GHzまでの電波の放射を測定することができる。測定アンテナは、広い周波数をカバーする必要があるが、対応する周波数範囲が広すぎるので数種類のEMCO社製アンテナ(電界モノポールと磁界ループアンテナ[10k～30MHz]、バイコニカルアンテナ[30M～300MHz]、対数周期アンテナ[200M～2GHz]、ダブルリッドホーンアンテナ[1G～18GHz]等)を用いて測定している。周波数を分析するスペクトラムアナライザは複数台あり、パソコンを介して連続測定も可能である。測定には、図の小型シールドルーム(2m×3m)や、野外では観測用自動車も使える。

これら測定システムは、平成11～13年度の石川県地域先導研究の際に構築されたものも多く、地域企業の測定依頼を歓迎しております。ご利用よろしくお願いたします。

■電気工学科 担当教員:深見 哲男

機器設置場所:専攻科棟 4階 環境電磁工学実験実習室



シールドルームで測定



野外測定用自動車

編集後記

産学官交流懇談会や石川県ニッチトップ企業人材育成事業などの多くの地域交流行事が開催されました。今後もセンターを中心に地域連携をより一層推進していきます。地域企業の皆様からのご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

各種のお問い合わせや技術相談は

石川工業高等専門学校トライアル研究センター(技術振興交流会事務局)
〒929-0392 石川県河北郡津幡町字北中条
TEL 076-288-8080 FAX 076-288-8081
Email:itctrial@ishikawa-nct.ac.jp http://www.ishikawa-nct.ac.jp/tech/